

福島浜通り地域の国際教育研究拠点に関する有識者会議  
企業アンケートについて（案）

令和元年 8 月 30 日  
復興庁

※ 現状の案を以下に示す。実際のアンケートにおいては、企業側から適切な回答を得られるよう、選択肢の内容等について変更があり得る。

### 1. 目的

- (1) 「経済産業省 国際産学連携拠点に関する検討会中間整理（平成 27 年 3 月 31 日）」等においては、多様な研究分野を対象とした産学官共同研究室・施設を起点に研究・教育拠点を構築することが提言されているところ。
- (2) そのあり方及び今後の具体化に向けた検討の参考とするため、大学に対するアンケートを既に実施している。
- (3) 今回、企業の立場からのアンケートも実施し、産学官連携での拠点整備に向けた検討の参考とする。

### 2. 実施方法

- (1) 時期：令和元年 9 月上旬から発送、9 月末～10 月上旬目途に回答締切、今後の中間とりまとめへ結果を適切に反映できるよう取りまとめ。（予定）。
- (2) 対象：福島イノベーション・コースト構想推進企業協議会、ふくしま応援企業ネットワークの各会員企業、等
- (3) 参考資料：  
有識者会議の開催要領、過去の報告書等の該当部分、第 1 回論点・議事要旨など、国際教育研究拠点に関する適切な情報提供に資する資料や説明を添付。

### 3. 具体的内容

※ なお、以下の選択肢に関連して、具体的な記載が可能な自由記述欄も設ける予定。

#### A 企業目線で望ましい機能・組織等について

- (1) どのような機能を拠点に求めるか（重要と思う順に 3 つまで選択）  
①教育機能、②研究機能、③新事業を創出する機能、④情報発信機能、⑤産学連携の推進機能、⑥その他
- (2) どのような形態の拠点が適切と考えるか。（適切と考える順に 2 つまで選択）  
①研究機関を中心するもの、②教育機関を中心とするもの、③産学連携・コーディネート機能を中心とする機関、④その他

#### B 貴社としての関心分野、内容、地域等に感じる魅力等

- (3) どのような分野に関心があるか。（複数選択可）  
①廃炉、②ロボット、③エネルギー、④農林水産（バイオ含む）、  
⑤環境・リサイクル（除染技術、自然再生を含む）、⑥情報・ネットワーク活用、  
⑦医療・ヘルスケア・介護、⑧放射線科学・リスクコミュニケーション、  
⑨観光（ホープツーリズムなど新分野開拓含む）、⑩地域振興・再生・街づくり、  
⑪防災・危機管理、⑫その他社会科学、⑬学際・融合分野、⑭その他
- (4) 浜通り地域の魅力は何か。（魅力が大きい順に 2 つまで選択）  
①地震・津波・原子力災害・風評といった地域を巡る状況が、研究・教育の対象になり得るところ、②地域において既にある取組に関わっている人材の魅力、  
③イノベーション・コースト構想の推進力、④関連する研究機関や企業等の既存

の立地・整備状況、⑤国や自治体の支援が見込まれるところ、⑥その他

- (5) 研究・教育拠点からの成果として何を期待するか。(重要と考える順に複数選択可)  
①優れた研究への参画による自社の研究開発能力の向上、②参加した人材の能力向上、③研究・教育活動を通じた成果の事業化、④良い人材のリクルート、  
⑤大学や異業種等の研究者、国内外の学生等との人脈形成、⑥その他
- (6) 研究・教育拠点で、連携したい相手先はどのようなものか。(複数選択可)  
①国内の国立研究所、②国内の大学研究室、③国内企業(同業他社)、④国内企業(異業種)、⑤海外の国立研究所や大学研究室、⑥海外企業、⑦その他

### C 貴社としての考えられる関わり方等

- (7) どのような人材を送ることが考えられるか。(複数選択可)  
①当該分野について教える側の人材、②当該分野について学ぶ側の人材、  
③当該分野での新事業等の開拓を推進する人材、④その他
- (8) 貴社にとって関心のある拠点となる前提で想定するとすれば、何人程度を送ることが可能性として想定されるか。(1つ選択)  
①1名、②2~3名、③3名以上、④その他
- (9) 貴社にとって関心のある拠点となる前提で想定するとすれば、研究・教育に参加する場合の期間としてどの程度を想定されるか。(1つ選択)  
①1年未満の短期、②数年程度、③5年程度、④その他
- (10) 研究・教育拠点への整備や参加に向けた障害として想定するものは何か。(課題として大きいと考える順に複数選択可)  
①具体的に取組む内容の決定、②必要な予算の工面、③必要な人材の選定、  
④ 自社以外の連携先の発掘と有益な連携、⑤研究・教育の拠点となる場の整備、  
⑥周囲の生活・教育・医療等の環境、⑦首都圏からのアクセス環境、⑧その他
- (11) 研究・教育拠点の整備や参画に向け、あると良い支援策は何か。(必要性が大きいと考える順に複数選択可)  
① 検討に必要な情報の提供、②予算支援、③税制優遇、④産学連携や拠点整備等に資する規制改革、⑤産学連携のコーディネーション、⑥産学連携を推進する新しい制度、⑦研究・教育の拠点となる場や機械・設備の整備、⑧その他
- (12) 産業界から研究・教育拠点に対し貢献できることは何か。(複数選択可)  
①事業化ニーズの提供、②共同研究を通じた研究資金や研究開発人材面での貢献、  
③研究の場や設備等の提供や共用、④産学連携教育への協力(寄付講座、学生指導等)、⑤奨学金の提供、⑥インターンシップの機会の提供、⑦その他
- (13) 貴社にとって関心のある拠点となる前提で想定するとすれば、どういった性格での投資が想定されるか。(1つ選択)  
①研究開発費の一部、②CSR等の社会貢献に係る費用の一部、③社員研修費等の一部、④その他
- (14) その他、国際教育研究拠点の整備に関係する自由なご意見 等

(以上)